

# 成長へ海外市場開拓

## エネクスやサイサン 東南アジアに

日本企業によるLPガス 献する狙いだ。

事業での東南アジア進 出が目立っている。伊藤 忠商事が40%を保有する

忠エネクスが16年5月に フィリピンのLPガス販 売会社、イスラ石油ガス

8月にカンボジア、11月 社の持ち分株式を譲り受 けて展開するが、海外L

進出を発表した。 Pガス販売事業への進出 は初めて。

日本のLPガス市場が 縮小を続けるなか、半世 紀以上にわたり培ってき

た供給・販売ノウハウを 東南アジア諸国の民生部 門のLPガス化に投入す

る。自社の経営多角化を 図りながら、国民生活を 豊かにしようと努力する

進出国の経済発展にも貢 与する狙いだ。 伊藤忠エネクスは伊藤 忠商事が40%を保有する

サイサンの海外LPガ ス事業はモンゴルを先行 例に、ベトナム、インド

カンボジアではサイサ ンが70%、現地のEGT 社オーナーが30%を出資

してGasOneカンボ ジアを設立、16年7月28 日から事業を開始した。

同国の人口は1500万 人の内戦から復興を果た しており、工業団地や高

層住宅、富裕層住宅向け の配管供給を展開する。 成長率が見込まれる。

バンクラデシユではオ メラ石油をパートナーに 首都ダッカに「オメラ・

ガスワン社」を設立し た。日本基準の貯槽・配 管技術を導入し産業用や

自動車の、さらに簡易ガ スのノウハウを使った高 層集合住宅や新興住宅地

への導管供給を目指す。 人口1億5250万人 の大国で経済成長率は6

プロパン・ブタンニュース  
2017年(平成29年)3月27日(月曜日)